

う え だ 市議会だより

令和3年6月定例会
令和3年8月16日号

No.84



上田市議会Facebook



上田市議会Twitter

第3回表紙デザインコンテスト『大賞』受賞作品
作品名：「懐かしい道」
撮影者：中田 耕市さん

6月定例会の概要

議案
予算
概要

新型コロナウイルス感染症対策に係る費用などが計上された令和3年度上田市一般会計補正予算(第4号)(第5号)を審議

可決



予算の概要

計上された主な事業をピックアップ



広報シティプロモーション推進事業

1,031万円

市民リポーターの拡充や写真投稿サイトを活用したフォトコンテスト実施等に係る費用

鳥獣捕獲先端技術導入事業

345万円

鼠などにセンサーを設置し、捕獲時にメールで通知するシステム開発と実証実験を民間企業と共同で行うための費用

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

5,682万円

総合支援資金の再貸付が終了し、追加貸付を受けられない世帯等の生活を支援するための支援金支給にかかる費用

上記支援金の詳細は、上田市ホームページをご覧ください



第二学校給食センター改築事業

4,586万円

改築に係る造成工事費及び敷地内の電柱移転補償費

公共交通キャッシュレス化推進事業

500万円

市内バス路線のキャッシュレス化を推進するため、民間企業と共同して実証実験を行う費用

新型コロナウイルスワクチン接種事業

2億9,070万円

ワクチン接種の加速化を図るため、体制の整備及びワクチン接種にかかる費用の追加計上

6月定例会 賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長（議長は表決に加わりません）

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金子 和夫	成瀬 拓	松尾 卓	中村 悠基	金井 清一	石合 祐太	欠員	小坂井 二郎	松山賢 太郎	古市 順子	金沢 広美	飯島 伴典	原 栄一	宮下 省二	齊藤 達也	齊藤加 代美	井澤 毅	土屋 勝浩	西沢 逸郎	久保田 由夫	渡辺 正博	半田 大介	池上喜 美子	池田総 一郎	南波 清吾	佐藤 清正	小林 隆利	林 和明	佐藤 論征	尾島 勝
47	○	欠	○	○	○	×	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
49	○	欠	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	○	欠	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

議案番号	議案名
議案第47号	上田市長の退職手当の特例に関する条例制定について
議案第49号	上田市水道条例中一部改正について
議案第52号	令和3年度上田市水道事業会計補正予算(第1号)

議案の審査結果は市議会ホームページからご覧いただけます。



総務文教委員会

●6月18日に開催し、条例案1件、予算案1件、事件決議案2件、報告5件、陳情1件の審査を行いました。

／市長(注)
 がないと考えている。(回答)

一般会計補正予算第4号

問 ペーパーレス会議推進事業で

は、システムの導入等に係る経費として251万5000円を計上しているが、ペーパーレス化により、どの程度の経費節減を想定しているか。

答 令和2年度の実績から、施政方針、提案説明、議案集、予算書等の議会に関する書類の印刷費については約700万円、また、部長会議や市政経営会議等の庁議で使用する資料の印刷費については約80万円の節減を見込んでいる。

(注)市長の退職手当に関する内容であるため、委員会に出席。

産業水道委員会

●6月21日に開催し、条例案1件、予算案2件、報告1件の審査を行いました。

ならない状況となり、市民の負担が増えること、また新型コロナウイルススワクチン接種の進捗状況などを踏まえ、総合的に判断したものである。

上田市水道条例中一部改正

問 上田市上下水道審議会の答申によると「改定時期については、

今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見て判断された」とのことだが、料金改定の時期を10月1日からとしたのはなぜか。

答 将来にわたり、安全・安心な水の供給を安定して行うため、施設の更新、耐震化を計画的に進めていかなければならないこと、料金改定を先送りすれば、さらに改定率を上げなくては

一般会計補正予算第4号

問 鳥獣捕獲先端技術導入事業について、システムが実装された場合の情報伝達に係るクラウドサーバー利用料の試算はどうか。

答 200台のセンサーを導入した場合の稼働費として、年間200万円から240万円の利用料が発生すると試算している。

上田市長の退職手当の特例に関する条例制定

問 本条例は、将来の市長等への影響を考慮した上で提出しているか。

答 退職手当の辞退が政策論争になることを避けるため、選挙公報などには掲載せずに、選挙に臨んだ経過があり、現在も市長の退職金や給料が政策論争となるのは好ましくないと考えている。今回、退職手当を辞退しても、今後の政策論争にはつな

常

任

委

員

会

の

審

査

概

要

●6月18日・28日に開催し、
予算案3件、報告6件の審査
を行いました。

一般会計補正予算第5号

問 新型コロナウイルス感染症生活
困窮者自立支援金の給付対象
者に対し、支給後の実態把握を
どのように行うのか。

答 支援金の支給対象者は、月1回
以上の自立相談支援機関での
面接、月2回以上のハローワー
クなどでの求職の相談及び週
1回以上の求人申し込みが
必要で、その結果から実態を把
握し、次の支給や生活保護申
請を含めた社会保障制度の提
案等を行うなど支援の継続を

行っていく。

問 新型コロナウイルスワクチン
接種の受付を行うコールセン
ター業務の今後の運営内容は
どうか。

答 65歳以上の高齢者に引き続き、
64歳以下の市民へのワクチン
接種が11月まで実施されるこ
とから、人員の体制を見直しな
がら継続していく。また、並行
して、インターネットによる受
付についても積極的に周知し
ていきたい。

●6月21日に開催し、条例案
1件、予算案1件、事件決議
案4件、報告2件の審査を行
いました。

一般会計補正予算第4号

問 地域公共交通計画は、これまで
に策定した上田市地域公共交
通網形成計画に代わる計画と
のことだが、具体的な内容はど
うか。

答 地域公共交通計画は、上田市地
域公共交通網形成計画に定め
ている基本方針を継承するこ
とに加えて、市内全体の輸送資
源を総動員することを計画に
位置づけるほか、利用者数など
の定量的な目標を設定して、毎

年目標の達成状況に対する検
証、評価を行うものである。

問 消防団に配備する救命胴衣は、
常備消防が使用する人命救助
用の救命胴衣とは異なり、消防
団員自らの身の安全を守るた
めの救命胴衣とのことだが、主
な相違点は何か。

答 主な相違点は救命胴衣の浮力で
あり、常備消防用の救命胴衣
は、人命救助用のロープや資機
材を携行しても耐えられるよ
う消防団員の救命胴衣よりも
大きい浮力となっている。

26人の議員が市政を問う

6月定例会一般質問要旨

新型コロナウイルス感染症対策として、質問時間を通常より10分間短縮して、一般質問を実施しました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
総務…総務部長	市民まち…市民まちづくり推進部長
生活環境…生活環境部長	健康こども…健康こども未来部長
商工観光…商工観光部長	農林…農林部長
都市建設…都市建設部長	消防…消防部長
丸子センター…丸子地域自治センター長	上下水道…上下水道局長
教育次長…教育次長	

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。



新型コロナウイルス感染症

齊藤 加代美 (新生会)

問 深刻化する女性の孤立を支援する民間事業者へ支援はできないか。

答 (市民まち) NPO法人等民間事業者は、アウトリーチ型の支援や、居場所の提供等、行政では手が届きにくい支援を行っていただいております。市も学んでいかなければならない。国の補助金の活用も含め、行政としていかなる支援ができるのか検討し、行政と民間が手を携えることで、様々な困難を抱える女性の

不安や悩みの解消につなげるよう環境づくりに努めていく。

問 高齢者のワクチン接種希望の想定割合はどうか。

答 (健康こども) 8割程度の接種を見込み、市では、当初から7月末までに対象者の85%程度の方が接種できる集団接種及び個別接種の体制を整え、7月末には希望者の2回の接種が終わるものと考えている。

●その他の質問項目

1. 高齢者の緊急情報伝達手段
2. 若者世代が上田に戻りたくなる機運の醸成



上田市地球温暖化対策地域推進計画

小林 隆利 (社志会)

問 2027年度の温室効果ガス排出量の目標削減達成のための具体的な取組と施策はどうか。

答 (生活環境) 特に太陽光発電に対する施策として、従前の住宅用の他に、市内の中小企業者も対象に加え、設置費用に対する補助事業の拡充を図るとともに、太陽光で発電した電気を蓄電し、夜間や災害時にも有効に利用で

きる蓄電設備に対する補助事業を新設した。また今年度は県において太陽光発電設備を市場価格より安価に調達する試みとして、共同購入事業が予定されており、市の補助制度との併用が可能であることから、幅広く周知を図り、太陽光発電等の普及をさらに推進してまいりたい。

●その他の質問項目

1. 令和元年東日本台風の検証報告と今後の災害対応
2. 米政策



今後の公園整備

飯島 伴典 (上志の風)

問 人口動態を踏まえた計画のあり方、維持管理費用の課題、P-PFI 活用可能性の見解はどうか。

答 (都市建設) 都市公園は、上田城跡公園等の大規模総合公園、地区公園、近隣公園、街区公園など 56 か所、小規模公園や広場が 291 か所、他に農村公園や森林公園等の公園がある。人口減少、少子高齢化の中、市民ニーズの多様化や公園環境の変化が見込まれる。平成 31 年 3 月に上田市緑の基本計画を改訂し、量か

ら、管理運営などの質への転換による公園整備を進めていきたいと考えている。維持管理費用は過去 5 年間、年間 6,000 万円程で推移。老朽化する施設の整備費や人件費等の確保が課題。P-PFI の活用は令和 3 年 3 月、上田市都市公園条例を改正し、導入することが可能となり、今後の制度活用は維持管理の軽減や公園の魅力アップに向け検討していきたい。

●その他の質問項目

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種体制
2. 図書館整備
3. 上田市スマートシティ化推進計画



看護師養成所 新設意向調査

佐藤 清正 (社志会)

問 意向調査の目的は何か。

答 (健康こども) 上田地域での看護師確保策を検討するため、看護師を目指す皆さんが求める看護師養成機関の在り方、在学期間中に求める支援内容等を調査する。

問 調査対象者は何人ぐらいを想定しているか。

答 (健康こども) 看護師を目指す中学生、高校生と現在すでに養成学校に在学する生徒合わせ

て 500 人程度を対象にしたいと考えている。

問 意向調査の結果を見て検討すると言うのでは、市民の健康と安全を持続可能な仕組みをもって守るべき市の姿勢としては不十分であり、方針を示すべきと思うが、見解はどうか。

答 (市長) 看護人材育成は持続可能な地域社会を築く上で重要な要素であり、意向調査で皆さんの思いを把握し、充足させるための施策を実現していきたい。

●その他の質問項目

1. 上田市中企業・小規模企業振興条例
2. 上田市文化財保存活用地域計画



地区防災マップ 作成の推進

松尾 卓 (公明党)

問 マップ作成の取組を推進する上での課題や今後の取組みはどうか。

答 (総務) 役員の担い手不足などにより時間や労力への懸念がある。マップ作成の取組は地域の特性を踏まえた避難ルールや地域住民の取るべき行動が明確になり、地域内での自助・共助を踏まえた防災・減災活動全体を見直す契機となり、地域防災力を高める効果が期待

できる。令和元年東日本台風による災害経験をふまえ、マップ作成を地域へ積極的に働きかけていく。県自主防災アドバイザーをはじめ、出前講座や研修メニュー等を提供する関係機関との連携を進め、マップ作成の労力、経費の負担軽減につながる手法の調査研究に取り組む。引き続き自治会の皆様と伴走型で取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. 自主防災アドバイザーの協力体制



人・農地プランの実質化

中村 悠基 (上志の風)

問 人・農地プランの話し合いの場に中心経営体に位置づけられた農業者を参集すべきと考えられている見解はどうか。

答 (農林) 中心経営体は、人・農地プランを今後実施していく上で、根幹をなす重要な事業者である。プランの見直し等について毎年協議していく必要があり、中心経営体の皆様には、現場で実践する立場からご意見をいただくため、今年度は各地区での懇談会にご出席

いただきたいと考えている。

問 今年度はどのような方式で人・農地プランの話し合いの場を設けるのか。

答 (農林) 今年度については、各地区の懇談会を11月と翌年2月の2回予定しており中心経営体を含む多くの農業者の皆さんにもご参加いただくため、大人数での会議が難しい状況にあれば、参集範囲を調整し、結果的により多くの皆さんが会議にご参加いただける方法を検討したい。



新型コロナウイルスワクチン接種の現状と感染拡大防止

原 栄一 (社志会)

問 医療従事者のワクチン接種状況と65歳以上の高齢者のワクチン接種の完了見込みはどうか。

答 (健康こども) 6月9日現在の県全体の医療従事者等に対する接種状況は、1回目の接種率は97.4%、2回目の接種率は78.3%で、完了は6月末の見込みと聞いている。高齢者の接種については、集団・個別接種とも大

きなトラブルや問題点もなく、6月10日時点で約8割の方が予約済であり、7月末には2回目の接種の終了予定と見込んでいる。

問 県内では、変異株の陽性者が増加しており、感染拡大が懸念されるが、市はどのような感染防止策を行っていくのか。

答 (市長) 全県において感染力が高い変異株の発生も確認されており、市においても基本的な感染対策の徹底を繰り返し進め、市民の皆様に感染防止について呼び掛けていく。



上田市消防団員の処遇改善

井澤 毅 (新生会)

問 上田市の団員報酬は、平成8年度以降見直しが行われておらず、一般団員報酬は地方交付税算入額に対し4割にも満たない額のままである。また、災害時の出勤報酬は支給されていない。処遇改善、団員確保策としても見直しが必要と考える。今年4月、国より消防団員の処遇改善を推進するため、報酬等の基準見直しに関する通知が発出されたが、上田市は報酬について見直しを行うか。

答 (消防) 報酬等の見直しや出勤報酬の支給は処遇改善や団員確保策として有効であり、出勤率の向上も図れるものとする。国が示した団員報酬の標準額及び新たに規定する必要がある出勤報酬の支給については、県内他市も参考に、上田市消防団と情報共有を図りつつ、上田市消防委員会でご審議いただき、令和4年4月の施行を目指し計画している。

●その他の質問項目

1. 上田市消防会館の使用
2. 上田市消防団本部
3. 上田市消防団体制の将来のあり方検討委員会



農福連携の現状と今後

小坂井 二郎 (仁政会)

問 農福連携事業の現状はどうか。

答 (農林) 農福連携事業は農政課、障がい者支援課が担当している。実施主体である上田市農業支援センターに負担金を支出し、事業運営を支えている。取組初年度である令和2年度は農福連携に取り組む梶子ワイナリーを訪問し、取組内容の紹介をいただいた。

問 農福連携コーディネーターの現状と課題はどうか。

答 (農林) J A信州うえだ内に配置しているコーディネーターを中心に、農福連携に係る業務を段階ごとに分け、関係機関が協力し、人手の足りない農業者などに農福連携の制度を紹介し、施設外就労として障がいのある方を受け入れてもらう体制を整えている。課題として、事業の認知度の向上、農業現場での障がいのある方の就労環境の整備が必要である。

●その他の質問項目

1. 中心市街地の整備



性的マイノリティ

石合 祐太 (新生会)

問 上田市人権尊重のまちづくり審議会にLGBT分野の専門分科会を設け、専門的知見に基づいた施策の検討や専門的知見を持つ方をアドバイザーに加えることは有効と考えるが、見解はどうか。

答 (市民まち) 審議会に部会を設け、専門的知見を有する方とともに深く掘り下げてみることは理解の促進、増進に向け有効な手段であり、今後研究したい。

問 松本市で今年4月から開始されたパートナーシップ宣誓制度の受けとめはどうか。

答 (市民まち) 松本市でのパートナーシップ宣誓制度は、全ての人の人権尊重を背景として、LGBT当事者への差別や偏見の解消につながる実践的な施策の一つと受けとめている。また、上田市での人権施策基本方針の理念に相通ずるものと考えている。

●その他の質問項目

1. コロナ禍における支援

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声 (その1)

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

6月定例会本会議の傍聴者数は延べ72人でした。
盲導犬と一緒に入場された方もいらっしゃいました。
傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

- 質問の中で関心のあるテーマが取り上げられており、興味深く聞きました。
事前にもう少し詳細なトピックが公開されていると、傍聴につながると思います。
(30代・女性)
- 各議員の得意とする分野や信念に基づくものなど、強い思いを感じました。
(60代・女性)

LGBT…レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシャル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender) の頭文字を組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つ

パートナーシップ宣誓制度…一方又は双方が性的マイノリティである二者が、互いを人生のパートナーとして日常生活において協力し合う関係であることを宣誓し、その宣誓を市が受け止める制度。松本市では、宣誓後に交付されるパートナーシップ宣誓書受領証または受領カードを提示することで市営住宅の入居申し込みなどが可能となる。



先進技術への取組み状況

林 和明 (新生会)

問 GIGAスクール構想開始後の児童生徒、教員の反応や今後の展望はどうか。

答 (教育長) 小中学校では、児童生徒がアプリやクラウドの使い方に慣れ親しんできており、様々な内容で端末を使った授業を進めている。初めは情報機器の扱いが不得手な教職員もいたが、今年度から週に1日、学校内に常駐しているICT支援員に機器の操作方法から授業でのアプリの活用方法について、対

面で教えてもらうことができ、端末利用の授業に抵抗が少なくなった。今後はICT教材を活用し、学びの個別最適化を進め、ICT端末やアプリの活用を学習活動の中に効果的に位置づけるための研究を進めていきたい。

●その他の質問項目

1. 公共施設マネジメントの点検・診断
2. 先進技術を活用した防災



新本庁舎での市民サービス

金子 和夫 (仁政会)

問 各部署の配置が変わったが、案内の工夫は。

答 (総務) 「市民が利用しやすく市民サービスを向上させる庁舎」を掲げ、正面玄関を入ると、フロア全体を見渡せる空間にデジタルサイネージを設置、統一した館内サインを各所に設置している。1、2階には関連した窓口や手続きをまとめ、3、4階には来庁者の導線が短くなる中廊下型のレイアウトを施し、利用者の利便性向上を図っている。

問 市職員の接客の工夫はどうか。

答 (総務) 1階窓口は総合窓口案内に加え、フロアマネージャーとして市のOB職員を配置し、2階は様々な相談窓口としてプライバシーに配慮した個別ブースとなっている。

問 新本庁舎開庁で市長が伝えたい想いは。

答 (市長) 職員に対して気持ちを新たに喜んで働く『喜働精神』の自覚で職務に精励して欲しい。

●その他の質問項目

1. コロナ禍での事業実施基準



市長のビジョンに基づく不登校・ひきこもり支援

斉藤 達也 (新生会)

問 市長のビジョンである「市民一人一人に陽があたるあたたかいまち」をつくるためには、不登校・ひきこもり支援を積極的に取り組むべきと考えるが、1期目の成果として約束する事項は何か。

答 (市長) 不登校、ひきこもり、いずれの課題に対しても、その解決に向けての取組は、一人一人の状況把握に努め、心の声を聞きなが

ら、孤立させることなく、状況に寄り添った支援を行うことが必要であると考えている。支援について、引き続き教育委員会及び関係部局と横断的な取り組みを進めていくが、とりわけ学校教育分野では、今年の総合教育会議の場において、不登校を最重要課題として取り上げ、関係者を招聘し、現場の声を聞いたり、他の市町村や民間等で取り組んだ成功事例を参考に、回数を重ねて課題解決に向けて鋭意取り組んでいく。



水道事業

佐藤 論征 (新生会)

問 つちや水源、滝の入水源を給水するための真田地域簡易水道統合整備事業の事業見通しと総事業費の見込み額はどうか。

答 (上下水道) 給水開始の時期は令和3年12月中を目途として進めている。十林寺、小玉上郷沢、赤井、下塚、竹室地区については、令和10年までの給水開始を目指す。総事業費は当初16億円に対し、24億円を見込む。維持管理費は、年間約7,000万円の削減効

果となる。

問 新たに水源を取水することによる農業用水への影響、既存の水源を既存の水路に流すことによる増水・災害などの影響はどうか。

答 (上下水道) 農業用水に与える影響は少ない。水路の増水は、神川または近接する水路等における排水が可能か管理者と協議し対応していく。放流量の増加による既存水路における影響は限定的だが、現地確認し地域住民と協議して対応していく。

●その他の質問項目

1. 災害時情報伝達手段



コロナ禍における生活支援

古市 順子 (日本共産党)

問 市の就学援助の支給対象者は、生活保護受給者と生活保護に準じる程度に困窮している方となっている。松本市の「児童扶養手当の支給を受けている方」のように、分かりやすい表記にすべきではないか。

答 (教育次長) 市の表記は分かりづらい面もあったので、今後は具体的な対象者の要件を示すなど、他の自治体の周知方法を参考にし、より分かりやすく工夫して周知を図っていく。

問 生理の貧困対策として、防災備蓄品の活用方法及び小中学校への対応はどうか。食料支援時の配布なども行うべきではないか。

答 (市民まち) 防災備蓄品の一部を活用して、市民プラザ・ゆうで配布を開始した。また市内4大学等へは、在籍者数に応じて配布した。小中学校への配布は、既決予算により新規に購入し行った。食料支援時での配布は、今後各団体と協議し、実施に向け検討していく。

●その他の質問項目

1. 介護保険の補足給付の見直し



ポストコロナ時代の観光

渡辺 正博 (日本共産党)

問 ポストコロナ時代の観光と観光政策はどうあるべきと考えるか。

答 (商工観光) コロナ禍が長期化するなか価値観に変化が生じ、これまで当たり前であった日常が失われ、自身にとって本当に大切なもの、必要なものを考え直すようになり、価値観の変化は観光にも及ぶことが想定される。観光は、心身の健康維持増進など、基本的な人の営みとして大変重要であり、他では代え

のきかないことや、そこに行かなければ体験できないことなど、これまで以上に満足度の高い観光が求められるようになっている。まずは、国内需要の取り込みに向けて上田にしかない、上田でしか体験できない独自の価値を大切にしながら、コロナと共存する中で、地域の経済効果と持続可能な観光を両立させた質の高い観光振興をすすめる必要がある。これまでのやり方にとらわれない新たな観光施策を模索していく。



常備消防の充実強化

西沢 逸郎 (仁政会)

問 高齢化の進展に伴う、市内の救急需要の見通しをどのように把握し、人口密度が高い旧上田市の救急医療の増加への対応はどうか。

答 (消防) 救急出動件数は、高齢化の進展を背景に右肩上がりです。平成18年には、約7800件であったのに対し、平成28年には1万件を超え、その後も高い水準で推移していましたが、コロナ禍での外出自粛により、令和2年中は、約8900件と減少しました。令和3

年2月に公表された救急搬送人員の将来推計は、令和17年まで漸増傾向にある。増加する救急需要への対応は喫緊の課題と捉え、現在、上田中央消防署において予備車を活用した2台目の救急車による病院間搬送等の試行的運用を開始しており、正式な救急隊の増隊については、令和4年度以降の運用開始を計画し、常備消防の充実強化に努める。

●その他の質問事項

1. コロナ禍における各種対応
2. 最先端技術の活用による相談体制の充実



5Gと携帯電話基地局整備

金沢 広美 (公明党)

問 行政において5Gなど新たなICTが導入され、今後情報通信機器の利活用が必要になるが、市内の5Gの地域ごとのカバー率と携帯電話会社の基地局設置計画は承知しているか。設置の際、事業者と行政との情報の共有が大切になると考えるが見解はどうか。

答 (総務) 5Gの地域ごとのカバー率は公表されておらず、市内基地局の設置計画の詳細は把握できない。基地局の設置場所は非公表で、

法令上、市に届出する根拠はないので、情報共有は難しい。

問 携帯電話基地局設置に伴う電波の影響について見解はどうか。

答 (生活環境) 総務省の見解から電波の健康への影響については国際的にも安全性が確保されているが、安心の受け止めは人それぞれに違いがあるため、事業者が基地局を設置する際は、周辺住民への丁寧な説明と対応を行うよう、市内を所管する信越総合通信局をお願いをしていく。



市長就任3年間の自己採点

尾島 勝 (新生会)

問 市長の任期は残り1年を切ったが、これまでの自己採点はどうか。

答 (市長) 市政を取り巻く状況は順風満帆ではないが、市民が幸せを感じながら毎日を健やかに過ごし、将来にわたって上田市に住んで良かったと思える市政を実現したいという思いの下、市長公約の実現に向けて一步一步取り組んできた。全ての事業に対しても常に全力を傾け100点を目指し市政運営に当たってきた。これまでの3年間は、まさしく全身

全霊で市政に取り組み、全力で駆け抜けてきたので、あえて点数で表現すれば、70点から80点の間というところになると思っている。任期も1年を切ったが、残された任期の中で、市民の負託に応え、上田市の更なる発展のために最善を尽くす。

●その他の質問項目

1. 急速に変化する社会情勢や国の法改正の動きへの上田市の対応
2. 10億円の寄附金の活用
3. 新型コロナウイルスの感染収束に伴う自治会等各種団体の活動再開の基準



医療体制の充実及び地域振興

久保田 由夫 (日本共産党)

問 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター再編成建設事業に関して、財政支援や周辺整備、まちづくりについての見解はどうか。

答 (健康こども) 上田地域広域連合としては財政支援せず、構成市町村ごとに支援を判断する。地域医療や二次医療を担う市内の病院のため適切な支援のあり方を検討したい。

答 (丸子センター) 現在、ウォーキングコース内のみどり橋の橋梁修繕工事や展望台へと続

く歩道の災害復旧工事を行っている。地域住民を対象に病院側が説明会を開き意見交換がされたと聞いている。工事期間が数年にわたるため、市として工事に関する情報共有や病院が考える地域貢献に協力したい。病院と温泉は貴重な地域資源であり、病院関係者や観光協会、旅館協同組合と連携を図りながら、地域振興、まちづくりに取り組みたい。

●その他の質問項目

1. デジタル改革関連法の影響



水道行政

宮下 省二 (社志会)

問 国の報告では上田長野間の水道事業を長野県域構想として取り組むとしているが、理由は何か。

答 (上下水道) 昨年秋、県企業局を通じて厚生労働省水道課へ支援要請を行い、これを受けて広域化推進モデル事業として報告された。

問 水道事業再編は人口減少即ち料金値上げといった流れを抑制すると受け止めてよいか。

答 (上下水道) 広域化は均一で質の高いサービ

スの安定供給に寄与するものと考えている。

問 染屋浄水場の施設更新に向けた専門家の登用、専門委員会の設置について見解はどうか。

答 (市長) 必要に応じ、専門家の意見を拝聴したい。専門委員会設置は検討の必要がある。

問 染屋浄水場更新を早期に行う考えはどうか。

答 (市長) 一日も早い更新を目指す。染屋浄水場から県営水道区域へ送水する連絡管整備も浄水場更新と同時並行で整備する必要があると考えている。

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声 (その2)

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

- 新庁舎のもとで議会風景が新鮮に感じました。(70代・男性)
- 木の温もりがある素晴らしい議場です。(40代・女性)
- フラットで通路も以前より広く、出入りしやすくなったので、傍聴しやすくなったと思います。(30代・女性)
- 傍聴席から議員側、理事者側の両方が見えるレイアウトはよい。(70代・男性)



脱炭素社会実現に向けた取り組み

池田 総一郎（上志の風）

問 上田市は2013年比で2030年に温室効果ガス37万トンの削減目標を設定した。庁内に一元的に温暖化対策を扱う専門部署を置くことについて市の考えはどうか。また、市民や市内のエネルギー関連事業者等も含めた協議体を設置し、官民協働体制を構築していくことについての考えはどうか。

答（生活環境）専門部署の設置については、地

球温暖化対策が世界的、将来的にも大きな課題であることから、社会情勢の変化による行政ニーズの動向と、それに伴う事業への対応の度合いなどを総合的に勘案した上で適宜適切に判断していきたい。また、市民やエネルギー関連事業者を含め多様な主体との情報交換ができる仕組みとして市民会議のような組織の設立について研究をしていく。

●その他の質問項目

1. 学齢期の子どもたちのスポーツ振興



上田市の観光地域のコロナ禍における対応

金井 清一（社志会）

問 宿泊事業者に対する支援制度の状況はどうか。

答（商工観光）冬季を中心に宿泊予約のキャンセルにより売上が大きく減少した事業者へ、一律20万円の支援金を支給するとともに、キャンセルが200人を超える場合には、超えた人数に一人当たり1000円を加算して支給する「旅館・ホテル業事業者宿泊予約キャン

セル等支援事業」を実施しており、5月末時点で101事業者に、総額9139万3000円を支給した。

問 観光振興に対する今後の対応策はどうか。

答（商工観光）市内外での新型コロナウイルス感染症状況や国・県の動向を見極めるとともに、観光関連事業者の皆様の声をしっかりお聞きする中で必要に応じた効果的な支援が実施できるよう検討したい。

●その他の質問項目

1. 日本遺産



ヤングケアラー支援

池上 喜美子（公明党）

問 病気や障がいのある家族、祖父母などの介護や身の回りの世話を担う18歳未満の子どもをヤングケアラーと呼ぶ。家庭内の問題で表面化しにくく孤立しがちな子どもたちへの支援をどのように考えるか。

答（健康こども）現状を把握する必要から、教育、福祉などの関係機関と横断的に連携を取りながら実態調査の実施について検討する。また、子どもの権利を守ることは大人の責務である

ため、早期に発見し支援に繋げるために、正しい知識や理解を深める研修会の開催も含めた効果的な取組を研究していきたい。

答（教育長）日頃から児童生徒が相談しやすい環境づくりに努め、教職員のみでは対応が困難な相談についてはスクールソーシャルワーカーの派遣もしている。子どもたちの安心のため関係機関が一体となり支援していく。

●その他の質問項目

1. 地域における包括的支援体制の構築



地元アスリートの育成と支援策

松山 賢太郎 (仁政会)

問 地元出身アスリートへの総合的な活動支援策の強化、構築及び支援基金の創設はどうか。

答 (教育次長) 全国大会等出場選手には奨励金交付、県代表選手には施設及び附属器具の使用料減免、活躍した選手には市長表彰の授与を実施している。上田市体育協会でも合宿・試合等の経費を助成している。今後スポーツ施策における財源確保策として、ふるさと納

税の活用も検討する。

問 上田ボクシングクラブや上田乗馬クラブ、自然運動公園アーチェリー場等の実績と特色ある施設の再整備の計画検討はどうか。

答 (教育次長) 市内には約 100 施設あり現状は十分な対応ができていない。整備方針については上田市スポーツ施設整備計画に基づき各施設の特徴を考慮して優先順位を定めている。機能維持のための大規模改修は建築年数が古い施設から予定しているが、全ての施設において、機能維持に必要な設備更新は財源確保等の条件が整えば順次進める。



退職手当の特例に関する条例

南波 清吾 (上志の風)

問 市長は現在の任期にかかる退職手当を辞退するため、退職手当の特例に関する条例の制定を提案したが、なぜこの時期の提案か。

答 (市長) 就任 1 年目は猛暑、酷暑、2 年目は令和元年東日本台風災害対応、3 年目の昨年から現在にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大など、未曾有の事態への対応を優先する中でどのような時期に提案すべきか思案し

てきたが、一定の落ち着きが見られるこの時期しかないと判断し、本議会に提案を行った。

問 来年の市長選を見据えた票稼ぎのパフォーマンスに見えるが見解はどうか。

答 (市長) あくまでも自分の政治姿勢として、平成 30 年に立候補した際、市民の皆様にお約束したことを現在の任期中に実行させていただくという趣旨である。

●その他の質問項目

1. 地方公務員の定年延長
2. 市長の公約

お知らせ



マチイロ

マチを好きになるアプリ

市議会だよりは、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



Android 版



ios 版

上田市議会フェイスブックとツイッターでも議会の活動をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。



Facebook



Twitter

みなさまからの陳情 1 件を審査

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第2号	最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命 氏 ほか1人	不採択

市議会では、皆さんの要望などを 請願や陳情として受け付けています。

提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

請願

請願権は、憲法において基本的権利として認められています。

所管する委員会に付託して審査を行います。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。

請願を紹介する議員が必要です。なお、紹介議員は2人以内です。

陳情

陳情は、請願に準じた取扱いをしています。

受理された場合は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

記載要件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び請願・陳情者の署名または記名・押印（※法人の場合はその名称及び代表者の署名または記名・押印）、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望により趣旨を説明する機会を設けています。

9月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

8月31日(火) 午後3時 詳細は上田市議会ホームページをご覧ください



令和 2 年度

政務活動費収支報告

上田市議会では「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。

政務活動費の額は議員一人当たり年額 24 万円で、各会派に対して所属する議員の人数分の額が交付されていますが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域経済を取り巻く環境が悪化している状況を踏まえ、市民生活や市内経済の支援策に充てるため、議員一人当たり年額 6 万円の減額を行いました。

政務活動費の収支報告書の提出に当たっては、議会内の取り決めにより、全て領収書をつけて報告することとしており、その内容については議会事務局で閲覧が可能です。



収支報告

(単位：円)

会派名	新生会	壮志会	上志の風	公明党	日本共産党	仁政会	
交付額（預金利息含む）	1,440,012	900,007	720,003	720,005	720,004	720,005	
支 出	調査研究費	50,000					
	研修費	50,880	125,880		56,540		
	広報費			465,564		60,300	
	広聴費						
	要請・陳情活動費						
	会議費						
	資料作成費	25,520			118,850	163,076	
	資料購入費	66,340	16,465	300	5,500	91,922	2,070
	人件費						
	事務所費						
	その他の経費						
支出計	192,740	142,345	465,864	124,350	371,838	2,070	
残額（戻入額）	1,247,272	757,662	254,139	595,655	348,166	717,935	



政務活動費を充てることのできる経費

政務活動費を充てることのできる経費は、条例で定められています。

条例は、ホームページからご覧いただけます。



項目	内容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研修費	1 会派が行う研修会の実施に要する経費 2 団体等が開催する研修会への所属議員の参加に要する経費
広報費	会派が行う市政及び会派の活動に関する住民への報告に要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、住民相談等に要する経費
要請・陳情活動費	会派が行う要請・陳情活動に要する経費
会議費	1 会派が行う各種会議の開催に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への所属議員の参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動のために必要な資料等の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費

新議場で6月定例会が開催されました

令和3年6月7日、議長の開会宣言の下、新議場での初めての定例会が開催されました。



バリアフリー化により、充実した設備をご紹介します。

どなたにもやさしく開かれた議場となりました。

①ヒアリングループを設置

ヒアリングループは聞こえに悩みがある方を支援する設備で、磁気コイル付補聴器などを利用することで、周りの騒音や雑音に邪魔されずに、目的の音声を信号として聴くことができます。



※ヒアリングループ設備に対応した受信機（写真のものは貸し出しいたします）ので、利用をご希望される場合は、傍聴受付時に議会事務局へお申し出ください。（先着3名）

②車いす2台分のスペースを確保



③傍聴者入口にスロープを設置

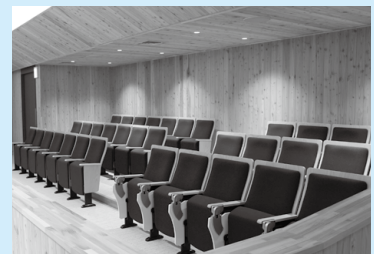


● 盲導犬と一緒に入場できます。

議会を傍聴しませんか

議会では、皆さんの身近な問題や上田市の予算・政策など、さまざまな事柄について、活発な議論が交わされています。

- Q 傍聴ができる方は？ A どなたでも議会の傍聴ができます。
- Q 事前の手続きは？ A 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。なお、現在、新型コロナウイルス感染症対策として、氏名・住所・電話番号の記入、検温にご協力をいただいておりますのであらかじめご了承ください。
- Q 予約は必要？ A 必要ありません。（大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。）
- Q 満席の場合は？ A 議場には入れませんが、議場外に設置のモニターで視聴できます。



9月定例会は **8月30日** 開会予定です。

日程が決まりましたら、8月下旬に市議会ホームページに掲載します。



令和3年9月定例会から

インターネットで本会議をご覧いただけますようになります。

本会議の審議状況をインターネット中継することで、市民の方の利便性向上を図り、議会公開の一層の促進を図ります。

開かれた議会を目指して

生中継及び録画による配信

スマートフォンによる視聴も可能



専用サイト（イメージ）

上田市議会ホームページからインターネット中継をご覧いただけます。



議員提案による条例の制定を検討しています

上田市は、健康都市の実現を目指す中において、生活習慣病の患者数が年々増加する一方で、特定健診の受診率が県内下位であるなど、健康に関する課題が山積している状況です。

このため、上田市議会では、健康に関する課題を解決するための有効策を議員間討議において協議した結果、健康づくりの推進を目指した条例の制定を進めるべきとの意見で一致しました。

令和2年6月に「健康づくり推進特別委員会」を設置して以降、健康づくりに関する市の施策や取組等を担当部局から聴取するほか、先進自治体の健康づくり条例に関する調査研究を行うなど、協議を重ねています。

6月28日の本会議では、これまでの活動内容と令和3年12月定例会の条例制定に向けて調査検討を進めていくことを報告しました。

今後、条例の素案がまとまりましたら、市議会ホームページでお知らせし、皆さんの意見を募集する予定です。



令和3年度
11月6日(土)

13時30分～16時10分
オンライン開催

上田市議会「議会報告会」

第1部 「各委員会から の活動報告」

▶ オンラインでの参加方法

YouTubeライブ(youtube.com/user/cityuedagikai)
から配信します。

最新情報及び視聴方法は、上田市議会ホームページ
またはフェイスブック、ツイッターでお知らせしま
すので、市議会 SNS のフォロー並びにチャンネル
登録をお願いします。

▶ 来場される場合の参加方法（インターネット環境がない方）

「氏名、住所、電話番号」を明記の上、8月18日(水)から10月18日(月)までにお申し込みください。
(先着20名 第1部・2部両方出られる方優先)

会場は、「上田市役所本庁舎5階大会議室」となります。詳しくは郵送でご案内いたします。

なお、会場の様子はライブ中継されますので、ご承知おきください。

今後の感染状況によっては、オンラインのみもしくは開催を中止する場合がございます。

第2部 講演会 ～アフターコロナを見据えて～

演題 人々のつながりと地域社会の在り方
～保健・医療・福祉の視点から～

講師 佐久大学 学長 堀内ふき氏



申し込み先

- 電話：22-0452 ● FAX：23-5136 ● E-mail：gikai@city.ueda.nagano.jp
- 郵送：〒386-8601 上田市議会事務局宛※住所記載不要

手話を学ぼう

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」
をお伝えしています。

今回のテーマは

「どうしましたか？」
「わかりました」

“長野県ホームページ”
「手話辞典」



「どうしましたか？」



右手の人差し指を立て、左右
に振ります。

「わかりました」



右手を胸に当て、なでおろす
しぐさをします。

表紙デザインコンテスト受賞者の声

中田 耕市さん

大賞受賞の連絡をいただいたときは、びっくりして信じられませんでした。ありがとうございます。
孫たちとの散歩の途中に、私が子どもの頃の夏休みの記憶に近い情景が目の前に現れ、思わずシャッ
ターを切りました。孫たちの思い出の原風景にもなってくれれば嬉しいです。

冊子として配布した市議会だより 83号 20ページの表紙デザインコンテスト議長賞「閃光」の撮影場所の記載の誤り
がございました。お詫びして訂正します。（誤）安楽寺八角三重塔→（正）前山寺三重塔